

1・I・施工体制一般	判定(a~e)	c	該当	<p>[評価対象項目] …原則、全項目対象。</p> <p>適材適所にあった人材が配置されていた。 責任と権限が明確化されていた。 責任感があり、指示事項は速やかに正確に履行した。 現場代理人は、常駐しており、また不在時がある場合は事前に連絡調整した。 一般的に施工体制が良かった。</p>
	全項目該当 a 評価 4項目該当 b 評価 3項目以下 c 評価	<input checked="" type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1・II・配置技術者	判定(a~e)	c	該当	<p>[評価対象項目] …原則、全項目対象。</p> <p>施工体制、施工状況及び工事全体を十分に把握して適正な工事に努めた。 監督員との連絡調整や協議を適時行うなど対応が良かった。 契約約款、仕様書、設計図書、指針等を十分理解し、現場に反映して工事を行った。 設計図書の照査が十分で現場との相違があった場合は適切に対応した。 技術的判断に優れ、良好な施工に努めた。 書類整理、資料整理が適切に処理されている。</p>
	全項目該当 a 評価 4項目該当 b 評価 3項目以下 c 評価	<input checked="" type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2・I・施工管理	判定(a~e)	c	該当	<p>[評価対象項目] …原則、全項目対象。</p> <p>施工計画書（変更を含む）の内容が設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていた。 工事材料の使用及び調達計画が十分なされていた。 品質確保のための対策が見られた。 出来形管理及び品質管理が適時、的確に行われていた。 現場内での整理整頓が日常的になされていた。 使用材料等の見本、品質管理証明書、工事記録写真等が適切に整理されていた。 立会確認及び段階確認の手続きが事前になされていた。 工事記録の整備が適時、的確になされていた。 工事全体で仕様書等に基づく環境対策（低騒音、排出ガス対策等）を十分に行った。 施工計画書に基づく施工管理が十分に行われた。</p>
	全項目該当 a 評価 8項目該当 b 評価 7項目以下 c 評価	<input checked="" type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1・I・施工体制一般	判定(a~e)	c	該当	<p>現場代理人は、事前の連絡調整がないままで、現場不在の状況が多かった。 施工計画書、外注計画書又は施工体制台帳と現場の施工体制の一部が不一致であった。 現場代理人は、工事をよく把握しておらず現場代理人以外のものが工事について対応した。</p>
	1項目該当 d 評価 全項目該当 e 評価	<input checked="" type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1・II・配置技術者	判定(a~e)	c	該当	<p>工事に適した技術者又は資格者が十分に配置されていなかった。 設計図書と現場との相違についての適切な対応が、時々遅れた。 工事についての説明を求めたが、迅速な回答がなかった。 配置技術者は、工事をよく把握しておらず配置技術者以外のものが、技術的対応をした。</p>
	1項目該当 d 評価 全項目該当 e 評価	<input checked="" type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2・I・施工管理	判定(a~e)	c	該当	<p>設計図書と適合しない箇所があり、改造請求を行ったが、速やかな対応がなかった。 施工計画書が工事着手前（準備期間を除く）に提出されていなかった。 定められた工事材料の検査義務を怠り、破壊検査を行った。 契約図書に基づく施工上の義務につき、監督員から改善指示を行ったが、速やかな対応がなかった。 施工管理基準に基づく施工管理項目が不備であった。</p>
	1項目該当 d 評価 全項目該当 e 評価	<input checked="" type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2・II・工程管理	判定(a~e)	c	該当	<p>[評価対象項目] …原則、全項目対象。</p> <p>○ <input type="checkbox"/> 工程の大幅な短縮に努め、早期に完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 工程は常に監督員と打ち合わせした。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場の地形的・地質的条件による工程調整や、関係機関、関連工事及び地元の調整を行って円滑な工程管理をした。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事の進捗が常に把握できた。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全対策を盛り込んだ工程管理であった。</p> <p><input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。(4週6休以上)</p> <p><input type="checkbox"/> その他( )</p>
	5項目以上 a 評価 4項目該当 b 評価 3項目以下 c 評価		<input type="checkbox"/>	<p>○ 該当 <input type="checkbox"/> 自主的な工程管理がなされず、監督員から改善指示を行ったが、速やかな対応がなかった。</p> <p><input type="checkbox"/> 請負者の責により計画工程より実施工程の遅れがあった。</p>
2・III・安全対策	判定(a~e)	c	該当	<p>[評価対象項目] …原則、全項目対象。</p> <p>○ <input type="checkbox"/> 安全管理措置に関して、効果的な社内パトロールを実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全教育及び危険予知訓練等を日常的におこない、事故及び災害等の未然防止に努めた。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全施設、交通対策施設とも常に完備され、工事期間中は現場の安全点検、補修がなされた。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場の条件にあった具体的な安全施工手順を作成して、それをもとに工事がなされた。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全標識設置及び保護具の点検を日常的におこない、事故及び災害等の未然防止に努めた。</p>
	全項目該当 a 評価 4項目該当 b 評価 3項目以下 c 評価		<input type="checkbox"/>	<p>○ 該当 <input type="checkbox"/> 安全管理に関する現場管理又は防災体制が不適切で監督員から改善指示を受けたが、速やかな対応がなかった。(安全管理であるから、「速やか」にしなければならない。)</p> <p><input type="checkbox"/> 安全施設について外部(第三者)から指摘があり、是正が必要であった。</p> <p><input type="checkbox"/> 重要仮設などの安全チェックを怠った。</p>
2・IV・対外関係	判定(a~e)	c	該当	<p>[評価対象項目] …原則、全項目対象。</p> <p>○ <input type="checkbox"/> 適切な対外調整に関して、自ら積極的にかつ適確に対応した。</p> <p><input type="checkbox"/> 適切な周辺環境対策の実施により、終始円滑な工事の進捗が図られた。</p> <p><input type="checkbox"/> 関係法令に対する認識が十分であった。(河川法、道交法、安衛法等に関する協議、届出)</p> <p><input type="checkbox"/> 工事に必要な対外関係を把握していた。</p> <p><input type="checkbox"/> 適切な対外関係について、常に監督員と連絡及び協議を行った。</p>
	全項目該当 a 評価 4項目該当 b 評価 3項目以下 c 評価		<input type="checkbox"/>	<p>○ 該当 <input type="checkbox"/> 関係法令に対する認識が不足して、工事の進捗に支障をきたした。</p> <p><input type="checkbox"/> 対外調整が不十分で、工事の進捗に支障をきたした。</p> <p><input type="checkbox"/> 関係法令に違反する恐れがあったため、監督員から文書により指示を行った。</p>
	1項目該当 d 評価 全項目該当 e 評価		<input type="checkbox"/>	

3 ・ I ・ 出来形	a	b	c	d	e
	出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足するとともに			出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	
	ばらつきが、規格値の概ね50%程度以内。	ばらつきが、規格値の概ね80%程度以内である。	a及びbに該当しない(ばらつき大きい)	監督員が文書で改善指示を行った。	契約約款第17条第2項に基づき監督員が破壊検査を行った
	判定(a~e)	① 出来形の評定は、工事全般を通したものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。			
3 ・ II ・ 品質	a	b	c	d	e
	品質関係の試験結果が試験基準、規格値を満足するとともに			品質関係の試験結果が試験基準、規格値を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	
	ばらつきが少ない。		a及びbに該当しない(ばらつきあり)	監督員が文書で改善指示を行った。	契約約款第17条第2項に基づき監督員が破壊検査を行った
	判定(a~e)	① 品質の評定は、工事全般を通したものとする。 ② 品質とは、設計図書に示された工事目的物の規格である。 ③ 品質管理とは「土木工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体系である。			

\* 「施工体制一般」、「配置技術者」、「施工管理」、「工程管理」、「安全対策」、「対外関係」の評定を再点検してください。間違いがなければ、右記の「決定ボタン」を押してください。 [決定]  (左記のチェック欄は通常空白にしておくこと。)

\* 「出来形」、「品質」の判定を行ってください。

- ※1. 次の「**創意工夫**」及び「**高度技術力**」の評定は、工事全般を通じて、特に優れた技術等を評価する項目で**該当する工事のみを対象に加点評価する**
- ※2. 「**創意工夫**」は、「**実用新案・特許クラス**」から「**現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫**」まで様々なレベルがあるが、**本項目では軽微なものを評価する**。
- ※3. 「**高度技術力**」は、工事全体を通して他の類似工事に比べて、**特異な技術力を要する必要があった技術**を評価するものである。
- ※4. キーワードの評価（選定）及び詳細評価は、**工事担当係長及び課長との合議をもって行うものとする**。

\* 加点評価する場合は、右記の「**加点ボタン**」を押してください。[加点]

創意工夫		該当	キーワード一覧表（創意工夫が多く見られるリスト）		
4・I・ 創意工夫・ 高度技術力	■ 準備・後片付け関係	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	1. 測量・位置出しにおける工夫 2. その他（ ）	
	■ 施工関係	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	3. 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫又は、設備据付後の試運転調整の工夫 4. コンクリート二次製品の利用等の代替材の適用と工夫 5. リサイクル製品、資材等の代替材の適用と工夫 6. 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工関係の工夫 7. 部材・機材等の運搬・吊り方式等を含む施工方法等の工夫 8. 設備工事で、加工、組立等の工夫又は、電気工事の配線、配管等での工夫 9. 給排水・衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫 10. 照明・視界確保等の工夫 11. 仮排水、仮道路、迂回路等の計画施工の工夫 12. 運搬車両・施工機械等の工夫 13. 支保工、型枠工、足場工及び仮栈橋、覆工版、山留め等の仮設工関係の工夫 14. 施工管理及び品質向上等の工夫 15. その他（ ）	
	■ 品質関係	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	16. 集計ソフト等の活用と工夫 17. 土工関係、設備関係、電気関係の工夫 18. コンクリートの打設関係の工夫（材料、打設、養生、出来形・品質等） 19. 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料の工夫 20. 配筋・溶接作業等に関する工夫 21. その他（ ）	
	■ 安全衛生関係	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	22. 安全仮設備等の工夫（落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等） 23. 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール、安全帯使用等に関する工夫 24. 現場事務所、労務者宿舎等の居住空間及び設備等の工夫、 25. 有毒ガス・可燃ガスの処理。及び粉塵防止策や作業中の換気等々の工夫 26. 供用中の道路等の事故防止、一般車両突入時の被害軽減対策及び一般交通確保等のための工夫 27. 作業環境が厳しい現場での環境改善等の工夫 28. ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 29. その他（ ）	
	■ 施工管理関係	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	30. 盛土の締固、場所打ち杭や既成杭の施工高さ等の施工に関する工夫 31. 施工計画書及び写真管理等の工夫 32. 出来形、品質との計測関係等の工夫。及び集計、管理図等の工夫 33. CAD、施工管理ソフト、土量管理システム等の活用 34. その他（ ）	
	■ 働き方改革	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	35. 週休2日（4週8休以上）の確保に向けた企業の取り組みが図られている。（4週6休も取組みと見なす） 36. その他（ ）	
	創意工夫		評価項目数	0	【創意工夫の詳細評価】
		※・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ・1項目1点を目安とする。			
					※記述評価【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】

高度技術力 キーワード一覧表		【事例】 具体的な評価技術力項目及び工事事例
4 ・ I ・ 創意工夫 ・ 高度技術力 ・ つづき	<p><b>事例</b> <input type="checkbox"/> <b>該当</b> <input checked="" type="checkbox"/> <b>■ 施工規模の大きさへの対応</b></p> <p>1. 対象構造物の高さ、延長、施工（断）面積、施工深度等の規模</p> <p><input type="checkbox"/> 2. その他 理由：</p>	<p>【事例：施工規模が大規模】下記の該当する項目が、高度技術で評価できる場合</p> <p>A. 切土・盛土工 15万m<sup>3</sup>&lt;V B. トンネル（シールド） 10m&lt;φ C. トンネル（NATM）内空断面積 85m<sup>2</sup>&lt;A D. トンネル（開削工法）20m&lt;H E. トンネル（沈埋工法）300m<sup>2</sup>&lt;A F. 転流トンネル400m<sup>3</sup>/s&lt;Q G. 海岸堤防、護岸、突堤、離岸堤 水深10m&lt;H H. 地滑り防止工 100m&lt;W 又は150m&lt;L I. 橋梁下部工 高さ30m&lt;H J. 橋梁上部工 最大支間長100m&lt;L</p> <p>K. 護岸・築堤高 10m&lt;H L. ダム用水門&lt;設計水深25m M. 揚排水機場 2000mm&lt;φ N. 砂防ダム 30m&lt;H O. 浚渫工 100万m<sup>3</sup>&lt;V P. 樋門・樋管 15m<sup>2</sup>&lt;A Q. 流路工 500m<sup>3</sup>&lt;Q R. ダム高 150m&lt;H S. 堰、水門 最大径間長25m以上又は径間数3径間以上又は50m<sup>2</sup>/門</p>
	<p><b>事例</b> <input type="checkbox"/> <b>該当</b> <input checked="" type="checkbox"/> <b>■ 構造物固有の難しさへの対応</b></p> <p>3. 対象構造物の形状の複雑さ（土被り厚やトンネル線形等を含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事</p> <p><input type="checkbox"/> 5. その他 理由：</p>	<p>【事例：構造物固有な施工難度と対応工法等】</p> <p>A. 地山強度が低い。また土被りが薄いためFEM解析等の施工のための検討が必要な工事 B. 砂防工事等で現地調査に基づき、現地合わせの再設計と施工が必要な工事。 C. 鉄道営業線に隣接した橋脚の耐震補強工事や河道内の流水部における橋脚撤去工事。 D. 供用中の道路トンネルの活線拡幅工事。等 E. 施工場所や構造物の特殊性に対処するための新技術、新工法を採用した工事。 F. パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 G. その他、3Dコンピュータシミュレーション等が必要な設計や特殊な工法及び材料等を用いた工事。等 H. VE提案された工法等が高度技術として評価できる場合 I. 構造物固有の難しさ、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事 J. その他、構造物固有の難しさ、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事</p>
	<p><b>事例</b> <input type="checkbox"/> <b>該当</b> <input checked="" type="checkbox"/> <b>■ 技術固有の難しさへの対応</b></p> <p>6. 工種及び工法の特異性</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用</p> <p><input type="checkbox"/> 8. その他 理由：</p>	<p>【事例：自然及び地盤条件への対応工事等】</p> <p>A. 河川内の橋脚工事等で、地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。 B. 支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎の1本毎に地質調査を実施する他、支持地盤を確認しながら再設計した工事。 C. 軟弱地盤上の緩速盛土のため、施工不可能日（待ち時間）が多く、施工機械の稼働率と施工台数等を的確に把握した工事。 D. 急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。または命綱を使用する必要があった工事（法面工は除く） E. 斜面上若しくは急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策施工後に、施工した工事。 F. 海岸及び河川内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 G. 波浪や水位変動が大きい場合、作業構台等を設置した工事。また、作業構台等の設置や作業工程から潜水夫を多用した工事 H. 国立公園内での工事。またはイヌワシ等の貴重種の保護のため、施工時期が限定されたり、施工方法等が制限された工事。 I. 冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事。 J. その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。</p>
	<p><b>事例</b> <input type="checkbox"/> <b>該当</b> <input checked="" type="checkbox"/> <b>■ 厳しい自然・地盤条件への対応</b></p> <p>9. 湧水の発生、地下水の影響（掘削時）</p> <p><input type="checkbox"/> 10. 軟弱地盤、支持地盤の状況</p> <p><input type="checkbox"/> 11. 河川内・海域・急峻な地盤条件下等及び工事用道路・作業スペース等の制約</p> <p><input type="checkbox"/> 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の影響</p> <p><input type="checkbox"/> 13. 地すべり等の地質条件、急流河川での水流、海域での潮流等の影響、動植物等に対する配慮等</p> <p><input type="checkbox"/> 14. その他 理由：</p>	<p>【事例：自然及び地盤条件への対応工事等】</p> <p>A. 河川内の橋脚工事等で、地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。 B. 支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎の1本毎に地質調査を実施する他、支持地盤を確認しながら再設計した工事。 C. 軟弱地盤上の緩速盛土のため、施工不可能日（待ち時間）が多く、施工機械の稼働率と施工台数等を的確に把握した工事。 D. 急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。または命綱を使用する必要があった工事（法面工は除く） E. 斜面上若しくは急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策施工後に、施工した工事。 F. 海岸及び河川内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 G. 波浪や水位変動が大きい場合、作業構台等を設置した工事。また、作業構台等の設置や作業工程から潜水夫を多用した工事 H. 国立公園内での工事。またはイヌワシ等の貴重種の保護のため、施工時期が限定されたり、施工方法等が制限された工事。 I. 冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事。 J. その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。</p>

